



「物流の品質」意識したことはございますでしょうか？

ご自身で商材の入荷・保管・梱包・出荷を行っておられる事業者さまは「届いた商品が違う」ご購入者さまからの一言で下記のような対応をイメージできるかと存じます。

① ご購入者さま対応

- 正商品発送・誤着商品返送準備・ポイント付与等の離反防止対応 等

② 在庫確認

- 正商品・誤着商品がズれているなら傷は浅いですが、別商材がズれていると他のご購入者さまにも影響している可能性があります

③ 運用見直し

- 原因が正商品・誤着商品の取り違い・検品漏れ等であれば、再発防止策を施します

時間が無い、他業務対応が必要などにより、上記①だけで済ませていませんか？

これでは原因が放置されているため同じミスが再度発生する運用が継続することとなります。

ミスが発生しない。これがベストではありますが完全自動化されているIT機器製造工場でも「初期不良」がゼロになることが無いことは、皆様ご存知のところでは。同様に物流現場でもミスが発生しない運用設計を行い、再三の運用テストを実施していてもミスはゼロにはできません。

1つのミスから再発を防止するだけでなく、同様の運用を行っている潜在的なミス要因も未然に手当を行うことにより、倉庫内でのミスを低減・維持することが可能となります。

このミス発生頻度を定量的に計測する術はあるのでしょうか？

物流業界では「100万件に何回ミスが発生するか？」を尺度とし、「ppm」という単位を活用します。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意となります。

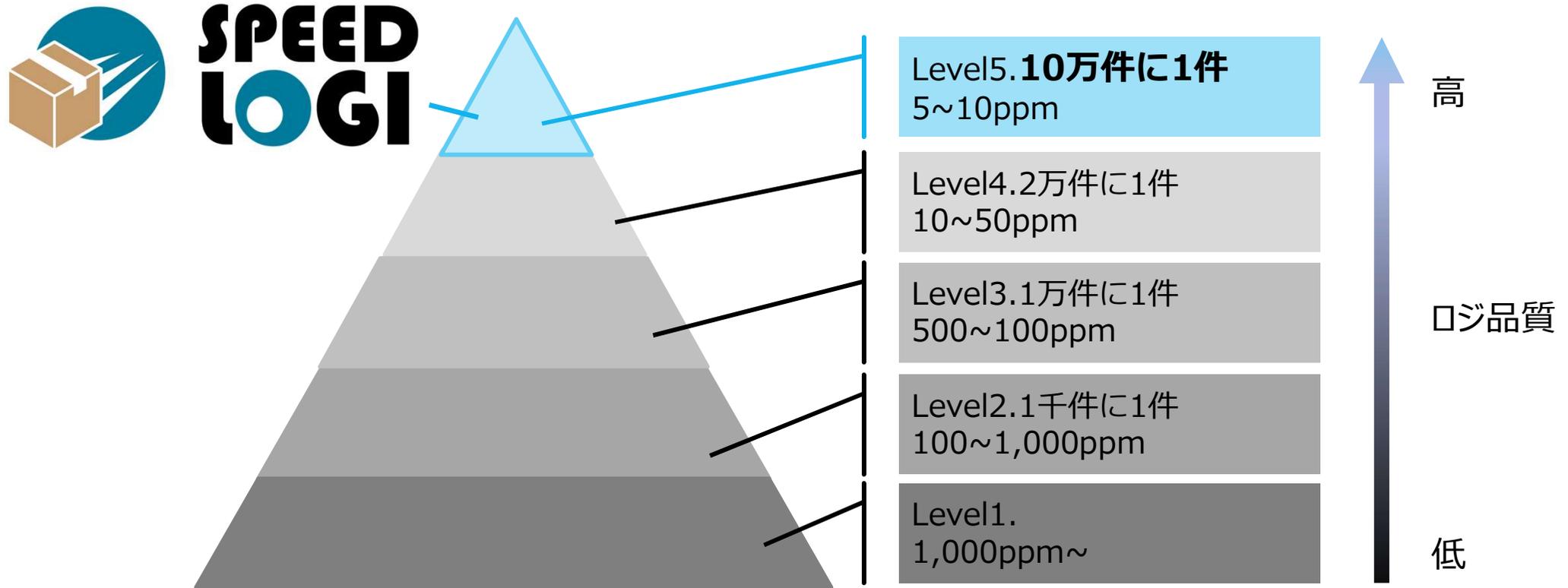
1ppm = 100万件につき1件のミスが発生

ロジ業界ではある程度の幅でppmをまとめ「Level1・2・3・4・5」と区分し「Level5」を最高品質としております。アナログ運用では10~50ppm（2万件につき1件・Level4）、完全自動化していても5~10ppm（10万件につき1件・Level5）が品質限界といわれています。

スピードロジはロジ業界 最高水準の品質を維持



Operational Excellence(オペレーショナル・エクセレンス)をサービス理念に掲げる我々
トランスコスモスが運営するスピードロジではサービス提供開始以降「**10万件つき1件未満の
Level5・ロジ業界 最高水準の品質を維持**」しております。ご安心してお任せ下さい。





Shopify向けフルフィルメント「スピードロジ」では
倉庫・物流以外にも多様な知見を基に
貴社事業の拡大・運用をご支援致します

◆ サービスサイト

<https://transcosmos-ecx.jp/service/speedlogi>

◆ お問い合わせ

<https://share.hsforms.com/1b3MbmVh4SCeVEAAhmqofUA4e8oc>

◆ 資料請求

<https://share.hsforms.com/10l-zwq-wQkua-BRecxbrCA4e8oc>

◆ よくあるご質問

<https://speedlogi.zendesk.com/hc/ja>



スマホでも